

ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2015年2月

コミッティ活動

REGULATORY: 担当 森田 (tmorita@isda.org)

信託口を相手方とする取引に関するサブワーキング・グループ

2月25日、サブワーキング・グループの会合が開催され、信託勘定における担保の取り扱いに関するひな形案について検討が行われた。ひな形案は、2015年12月1日から施行される本邦の信託勘定を利用した非清算集中取引の証拠金規制に関する監督指針に対応したものである。メンバーは円滑な導入に向けたアプローチと問題点、メンバー側からの提案などについて話し合った。

COLLATERAL: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / 洞口 (khoriguchi@isda.org)

IMの分別管理・倒産隔離に関する検討会

2月4日、IMの分別管理・倒産隔離に関する検討会メンバーが、担保の差入人、受取人、および信託銀行との間で、信託勘定を利用してIMの分別管理義務に対応する際にひな形として使用される信託契約書案について、引き続き検討を行った。なお、税制面、システム管理面、受託の可否等は相対で検討を行う必要、合意を得る必要がある。信託銀行側は、次回ワーキンググループまでに信託契約書の概要説明資料を準備することに同意した。

メンバーはまた、信託勘定を利用したIMの分別管理に対応するオペレーションフローについても話し合った。相手方が海外である場合にグローバルカस्टディアンを利用した際のオペレーションフローについて、次回会合までに検討することについても同意を得た。

アジアのメンバーを対象としたWGMR Legal & Documentationに関する電話会議

2月27日、WGMR Legal & Documentation Workstreamが行っている、新しいCSAのドキュメンテーション構造など、WGMAでの検討内容について本邦のWGMR Legal & Documentation ワーキンググループのメンバーを対象に説明した。

現金担保に関する源泉徴収税

2月16日、ISDAメンバーの代表者が、カウンセラーと初回会合を開催し、関連する問題点についての説明を行った。次のステップについてはいずれ確認の予定。

CREDIT DERIVATIVES: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / Kaori Horaguchi (khoriguchi@isda.org)

サンヨー電気株式会社

2月24日、ISDAは1月28日のDCの決議とステートメントに続き、DCで討議すべき質問が提出されないため本件は却下するとのDCの決議とステートメントを公表した。

TIBM Definitions Update: 担当 森田 (tmorita@isda.org) / Kaori Horaguchi (khoriguchi@isda.org)

昨年トムソン・ロイターが発表した2015年4月に予定されているレート公表規定の変更に伴い、2月27日、ISDAはTIBM定義の修正案を回覧、メンバーからのコメントを募集している。

ISDA 2006 定義集の修正についてはSupplementによる対応を検討。

コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

IM Segregation Working Group (日本語による会議)	3月6日
OTC Derivatives Regulations Working Group (日本語による会議)	tbd
Trust Bank's Fund Account Sub-Working Group (日本語による会議)	tbd
Japan Collateral Committee (日本語による会議)	4月9日
Client Clearing Legal Opinions (日本語によるシンポジウム)	4月9日